

第 86 回全国健康保険協会香川支部評議会議事録

開催日時：令和 8 年 3 月 16 日（月）15：00～16：40

開催場所：全国健康保険協会香川支部 会議室

評議員：長山評議員（議長）、西尾評議員、芳我評議員、藤井評議員、
藤岡評議員、古屋評議員（副議長）、松木評議員、三好評議員
（欠席）原田評議員

（五十音順）

議題

○報告事項

1. 2026（令和 8）年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算等について
2. 2026（令和 8）年度都道府県単位保険料率の決定について
3. 2025（令和 7）年度支部保険者機能強化予算の変更について

○その他

1. 協会けんぽ香川支部からのお知らせ
2. 協会けんぽ香川支部の概要

議事概要

○報告事項

報告事項 1. 2026（令和 8）年度支部事業計画及び支部保険者機能強化予算等について

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【事業主代表】

商工会議所等との連携について、令和 7 年度では事業所まるごと健康宣言の勧奨を目的に、高松商工会議所の会頭との連名文書を会員事業所へ送付する事業を実施したとあるが、商工会としても健康づくりの取組を進めていきたいので商工会連合会にも働きかけをお願いしたい。

【学識経験者】

令和 8 年度健診体系の見直しとして、生活習慣病予防健診の対象年齢を 20, 25, 30 歳の若年者へ拡大、さらに 40 歳以上の女性を対象とした骨粗しょう症検診の開始は非常に有意義なことである。

ただし、骨粗しょう症については、若年者からの意識付けが非常に重要であることから、

生活習慣病予防健診を受診したタイミングにあわせて、骨粗しょう症予防の大切さを伝えるパンフレット等を配付することなど検討してみてもどうか。

【事務局】

貴重なご意見として承る。

報告事項 2. 2026（令和 8）年度都道府県単位保険料率の決定について

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【学識経験者】

都道府県別の健康保険料率をみると、香川支部の負担は軽減しているが、健康保険料率 10.02%に、介護保険料率 1.62%と新設される子ども・子育て支援金率 0.23%が加算されることで、全体として昨年よりも負担が増加している。子ども・子育て支援金率の負担割合が大きく感じるため、恩恵を受けた感じがしない。

【事業主代表】

・インセンティブ制度に関する周知が不足していると感じる。特定健診等の実施率や特定保健指導対象者数の減少率など、加入者や事業主の健康づくりの取り組みによって健康保険料率の引き下げに影響することをもっと広報してほしい。また、インセンティブ制度の 5 つの評価指標は競争原理が働いているのか。

・マイナ保険証の利用促進により加入者の調剤状況の把握、多剤投薬等を抑制することで、医療費適正化につながり、保険料率の引き下げにつながるのではないかと。

【事務局】

・インセンティブ制度の広報について、現在ホームページや納入告知書同封チラシ等により広報をしているが、加入者や事業主に十分に認識されていないことを真摯に受け止め、今後の対応を検討する。また、インセンティブ制度の評価指標については、令和 3 年に支部の規模で差が生じないように適宜見直しを行っている。

・調剤状況を把握することは可能であるが、マイナ保険証の利用率は 40%程度であり、まずは利用促進を図っていく必要がある。また、多剤投薬の抑制については、香川県薬剤師会と連携した取組みを今後検討していく。

報告事項 3. 2025（令和 7）年度支部保険者機能強化予算の変更について

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

特になし

○その他

1. 協会けんぽ香川支部からのお知らせ

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

【学識経験者】

コミュニケーションロゴはいわゆるロゴというもので、タグラインというのはキャッチフレーズのような認識でよいか。またコミュニケーションロゴが新設されたことに伴い、赤いロゴマークは今後使用しないのか。

【事務局】

その認識でよい。赤いロゴマークについては、看板・名刺・各種申請書等で使用し、コミュニケーションロゴはチラシ・リーフレット・ホームページ等の広報を中心に使用する。

2. 協会けんぽ香川支部の概要

【事務局より資料に基づき説明】

◆主な意見

特になし

以上

令和8年3月16日